（十二月物語）２幕

森は生きている

ふぶきにとざされた冬の森に咲いたマツユキ草。
それは「四月の精」から、心やさしい「みなしご」への
特別な贈り物でした。

詩情溢れる舞台　美しい音楽　移り変わる四季

一九五九年初演以来、全国の子どもから大人までを魅了した感動の舞台が
おかげさまで二〇〇〇回公演を達成することができました。

燃えろ　燃えろ　あざやかに
夏はカッカと照るだろう
冬はなるたけ暖かく
春はやさしく照るがよい
燃えろ　燃えろ　明るく燃えろ
消えないように　どんどん燃えろ

児童演劇の最高傑作を　世代を超えて21世紀へ

児童・青少年に質の高い舞台を提供することは、現代においてますます重要な課題のひとつです。「森は生きている」は劇団仲間の代表作で、50年あまり、毎年、年末年始に公演を重ねてきています。このようなロングランは作品の魅力や知名度もさることながら、幾世代にわたって多くの人達に愛され、全国各地で上演を待っている観客に支えられた、ひとつひとつの公演成果の積み重ねなのです。今後も劇団の総力をあげ、21世紀に輝く作品として新しい出逢いをしていきます。

作／サムイル・マルシャーク　訳／湯浅 芳子（岩波書店版）　演出／菊池 准　音楽／林 光　出演者／27名

公演回数 2130回 ‘22年2月現在

劇団仲間

「人間をして、よりよく生かしめよ」劇団結成宣言（1953年）